

パロマガスふろ給湯器

オートタイプ FH-203APDT 取扱説明書

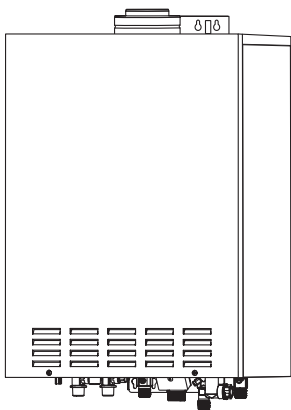
BL認定部品 保証書付

特定保守製品

この機器は消費生活用製品安全法で指定された「特定保守製品」ですので、所有者登録と法定点検が必要です。
詳しくは「長期使用製品安全点検制度に関するお願い」(→ P.44 ~ 45)をご覧ください。

このたびはガスふろ給湯器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
このガスふろ給湯器には保証書が付いています。内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、器具名・製造年月をお知らせください。



Paloma

もくじ	ページ
製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	3
各部の名称とはたらき	8
ご利用前の準備	12
機器の準備	12
工場出荷時の設定について	12
現在時刻を合わせる	13
お湯を使うには	14
お湯を使用する	14
優先を切り替える	16
おふろを沸かす《ふろ自動運転》	17
おふろを沸かす	17
おふろを沸かし直す	18
おふろを沸かす《予約運転》	19
予約でおふろを沸かす	19
ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには	21
おふろ沸かしの設定を変更する	21
おふろのお湯を熱くする	23
追いだきをする	23
おふろのお湯をぬるくする	24
たし水をする	24
おふろのお湯をふやす	25
たし湯をする	25
キッチンタイマー	26
キッチンタイマーを使う	26
知っている便利な機能	27
配管クリーン	27
設定の変更する	28
音量を変更する	28
省電力を解除する	29
エネルギー	30
現在のエネルギー使用量を見る	32
今までに使ったエネルギー量を見る	33
料金単価や目標金額を設定する	34
エネルギーの設定を変更する	36
エネルギーの初期化をする	38
冬の凍結予防をするには	39
再使用するとき	42
凍結してしまったとき	43
長期使用製品安全点検制度に関するお願い	44
長期使用製品安全点検制度について	44
法定点検(有料)について	44
所有者登録について	44
この製品の設計標準使用期間について	45
法定点検の連絡先について	45
部品の保有期間について	45
日常の点検・お手入れについて	45
点検のポイント・お手入れのしかた	46
点検のポイント(月1回程度)	46
お手入れのしかた(月1回程度)	46
定期点検のおすすめ(有料)	46
循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)	47
給水口フィルターの掃除	47
点検・お手入れ後の確認	47
故障かな?と思ったら	48
エラーコード表示について	51
仕様一覧	52
アフターサービスについて	53
保証書	55

ご利用の前に

お湯

基本の使い方

ふろ

便利な使い方

エネルギー

長くお使いいただくために

製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

- ◆おふろもシャワー・給湯も、これ1台でOK。
- ◆リモコンのふろ自動を押すだけの簡単操作でおふろが沸かせます。
- ◆予約タイマー付きだから、忙しい方も好きなときにバスタイム。

快適です!

- ◆おふろのお湯の温度を自動的に保温します。
いつも快適なおふろです。
- ◆ふろ配管をきれいにします。
ふろ配管内の残り湯を流しだす機能があります。



環境にもやさしい!

- ◆リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX)

参照ページを示しています。

ご利用の前に

■機器本体の表示について

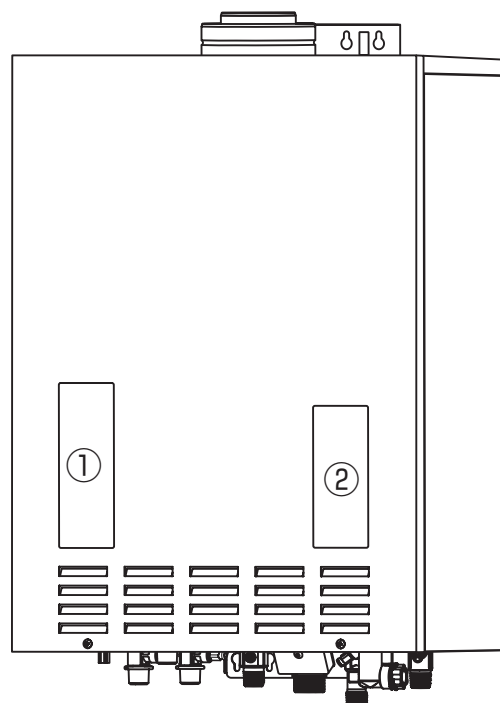
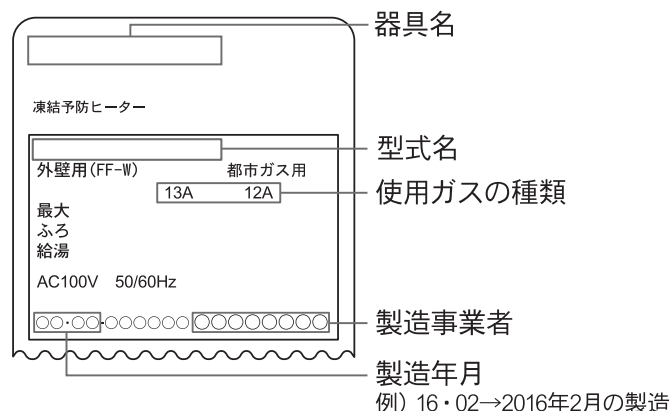
以下の方法で、製品の器具名をご確認のうえ、取扱説明書をご覧ください。

①使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

②銘板

器具名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者などを表示しています。



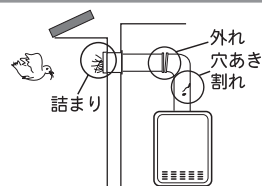
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

⚠危険

給排気筒の定期点検

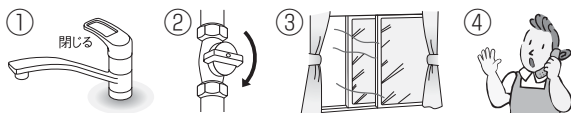
- 給排気管(給排気筒トップを含む)が外れていたり、鳥の巣・落ち葉・すすなどで詰まっていないか定期点検をする。詰まっていると排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。



必ず行う

ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉じる。
- ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
- ④お買い上げの販売店、または最寄りのガス事業業者に連絡する。



必ず行う

すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話を使用しない

炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



火気禁止

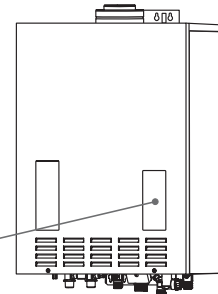
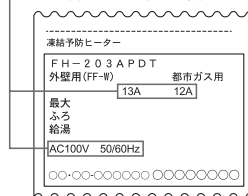
⚠警告

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

- 転居時の注意は(→P.53)

※図の銘板は都市ガス12A,13Aの場合
この部分を必ずご確認ください。



必ず行う

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店かパロマへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



必ず行う

この機器は屋内設置用です

- この機器は屋内設置用なので屋外に設置しない。雨水の浸入などで、故障の原因になります。



禁止

ガス接続について

- この機器のガス配管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には必ずお買い上げの販売店かパロマへご相談ください。



必ず行う

改造・分解禁止

- 絶対にお客さまご自身で、改造・分解・修理は行わない。改造・分解は、一酸化炭素中毒などの思わぬ事故や故障・火災の原因となります。



分解禁止

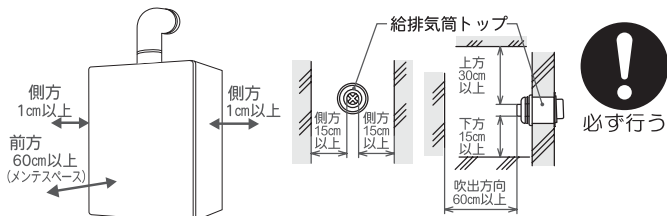
必ずお守りください

警告

ご利用の前に

火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



- 機器および給排気管(給排気筒トップを含む)の周辺には紙や木材・洗濯物など、燃え

やすいものを置かない。火災の原因となります。

- 機器および給排気管(給排気筒トップを含む)の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。

- ・お湯を再使用するとき
- ・給水温度が高いとき
- ・給水圧が下がったとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・機器が故障したとき

- 入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。



- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がリモコンの温度を変更したり、**運転**ボタンを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。
- 浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない。

怠ると思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。



このような場合は使用しない

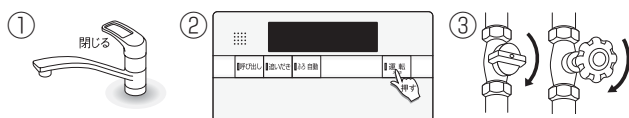
- 増改築などによって、給排気筒トップを屋内状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしない。一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。

- ①給湯栓を閉じる。
- ②リモコンの**運転**ボタンを「切」にする。
- ③ガス栓・給水元栓を閉じる。



- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。

- ①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②「故障かな?と思ったら」(→P.48～51)に従って処置をする。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店かパロマへ連絡する。



機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



ソーラー機器接続禁止

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。



必ずお守りください

警告

電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



禁止

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



禁止

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

- ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず行う

電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。ケーブルを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



必ず行う

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



アースを必ず接続せよ

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。



ぬれ手禁止



感電注意

注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、お風呂沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

配管カバーについての注意

- 配管カバーのフロントカバーを外した場合は、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける。(→P.47)



必ず行う

機器本体でのやけどに注意

- 使用中または使用後しばらくは、排気口付近を触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

空だき防止

- リモコンの追いだきボタンを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



必ず行う

お子さまには十分な注意を

- 浴槽の湯(水)に潜ったり浴室で遊ばせない。
 - 子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。
- 思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子さまのいるご家庭では注意してください。



禁止

水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客さまの責任となります。



禁止

お願い

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

必ずお守りください

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷など)以外は、電源プラグを抜かないでください。

飲用(調理用)にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲用(調理用)には使用しないで雑用水としてお使いください。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器などが腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分などを確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、循環口フィルターが詰まったり、追いだき配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 葉草やゆず入り入浴剤の場合は、葉草などが循環口フィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。

リモコンの扱いについて

- リモコンはお子さまがいたずらしないよう注意してください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。台所・増設リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。

通水使用の禁止

- リモコンの**運転**ボタンを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くする原因になる場合があります。(冬期の凍結予防を除く)

入浴時の注意

- 循環口フィルターを外して、お子さまがおもちゃなどを入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。

特監法対象機器

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが貼付していない場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事業業者の氏名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



地下水や温泉水、井戸水では使用しない

- この機器は上水道用です。地下水・温泉水・井戸水(簡易水道を含む)を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり、短期間で銅管を腐食させるなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 再通電したときは、リモコンの現在時刻設定を行い、給湯温度などの表示を確認してからご使用ください。
- 自動でおふろを沸かししているときに停電になると、ふろ自動運転が停止します。通電後、**おふろを沸かし直す**(→P.18)の操作を行ってください。

必ずお守りください

お願い

断水の時

- 給湯栓を閉じ、リモコンの**運転**ボタンを「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給湯配管内にとどまることがあります。

日常の点検・お手入れ

- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴室や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)などでふき取ってください。

積雪時の閉塞^{へいそく}について

- 積雪時は給排気管(給排気筒トップを含む)の点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により給排気筒トップが塞がれないように注意してください。故障の原因となります。屋根から落ちた雪が給排気筒トップを塞ぐおそれがあるときは、お買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。

設置する場所や状況について

お願い

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃烧音・燃烧ファン・ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者でご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃烧不良の原因になります。また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。塀などと機器との間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたすおそれがあります。(機器の点検・修理のための空間についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店かパロマまで、ご連絡ください)

排気ガス

- 増改築時には、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 給排気筒トップの周囲には、給排気筒トップからの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃烧の原因となります。

ほこり

- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給排気筒トップを塞いだり、燃烧ファンの性能を低下させ、不完全燃烧の原因となります。

塩害

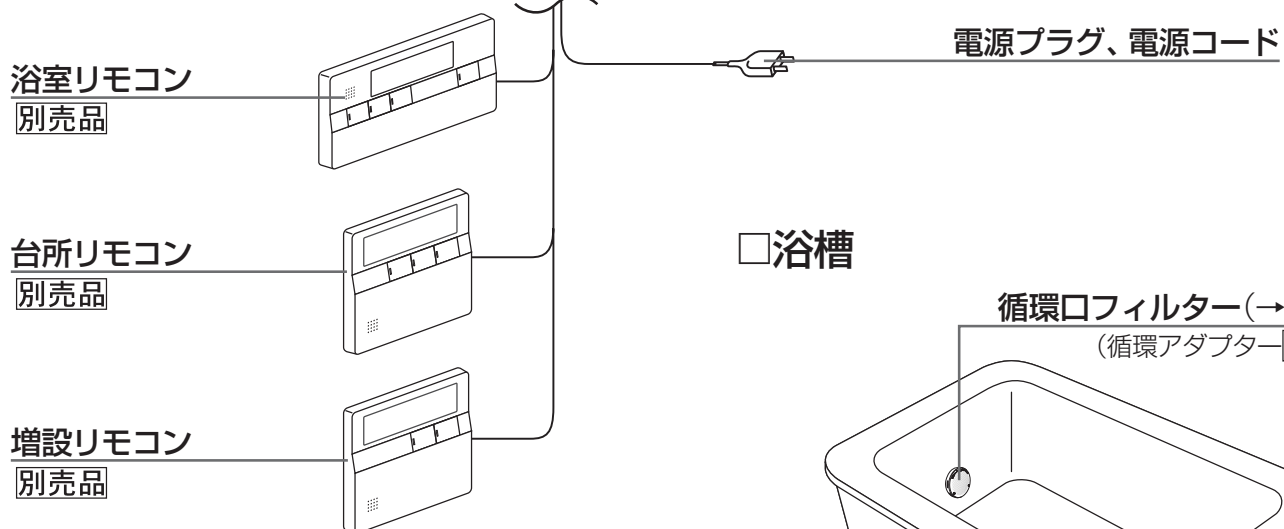
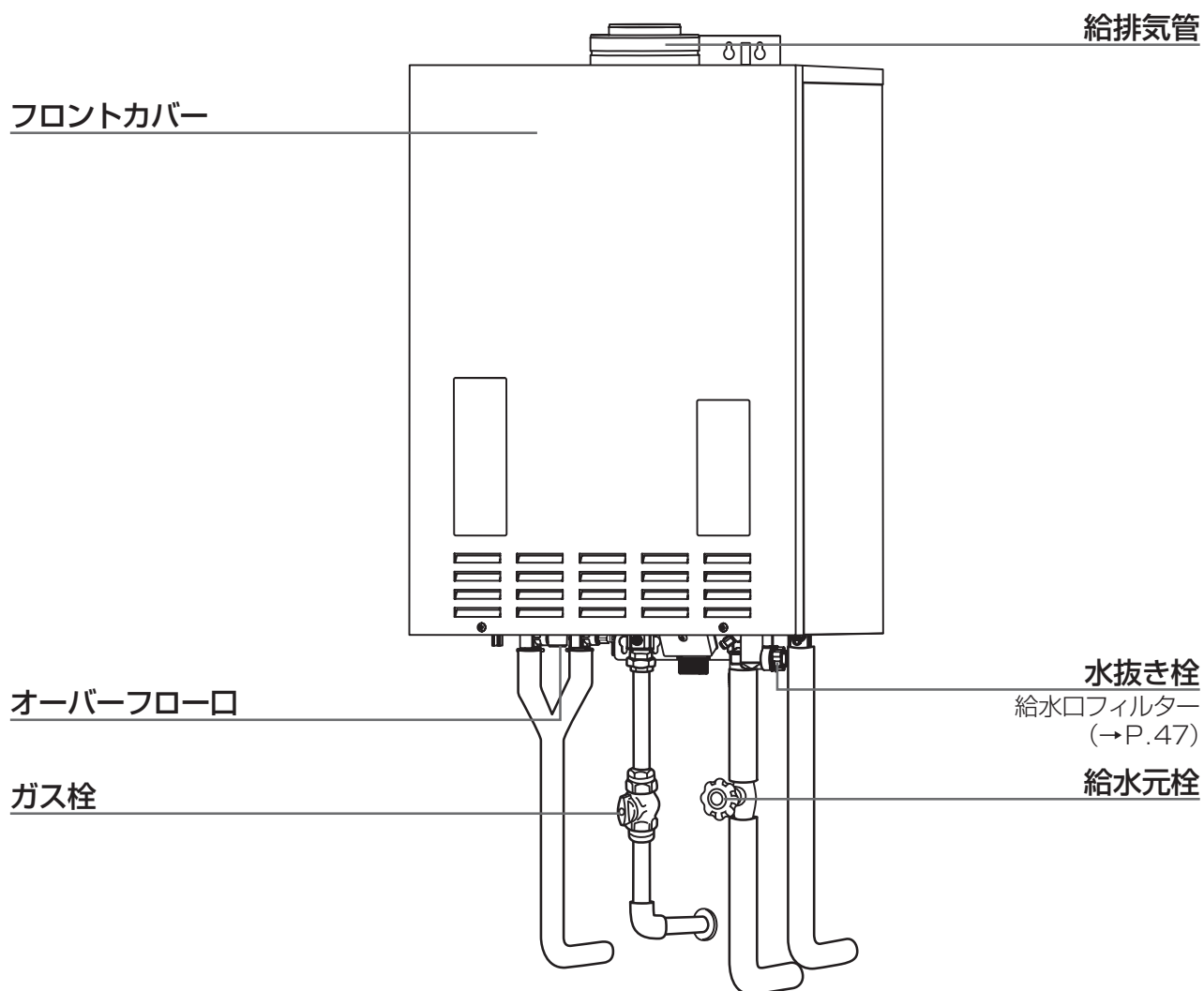
- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

塩ビ管の使用について

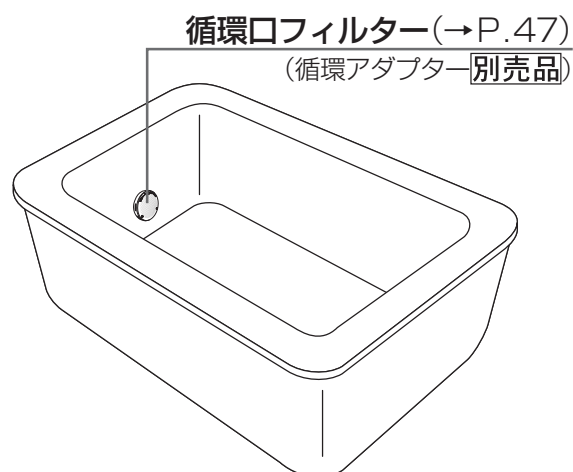
- 給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。(ただし、オーバーフロー配管は除きます)

各部の名称とはたらき

■機器本体



□浴槽

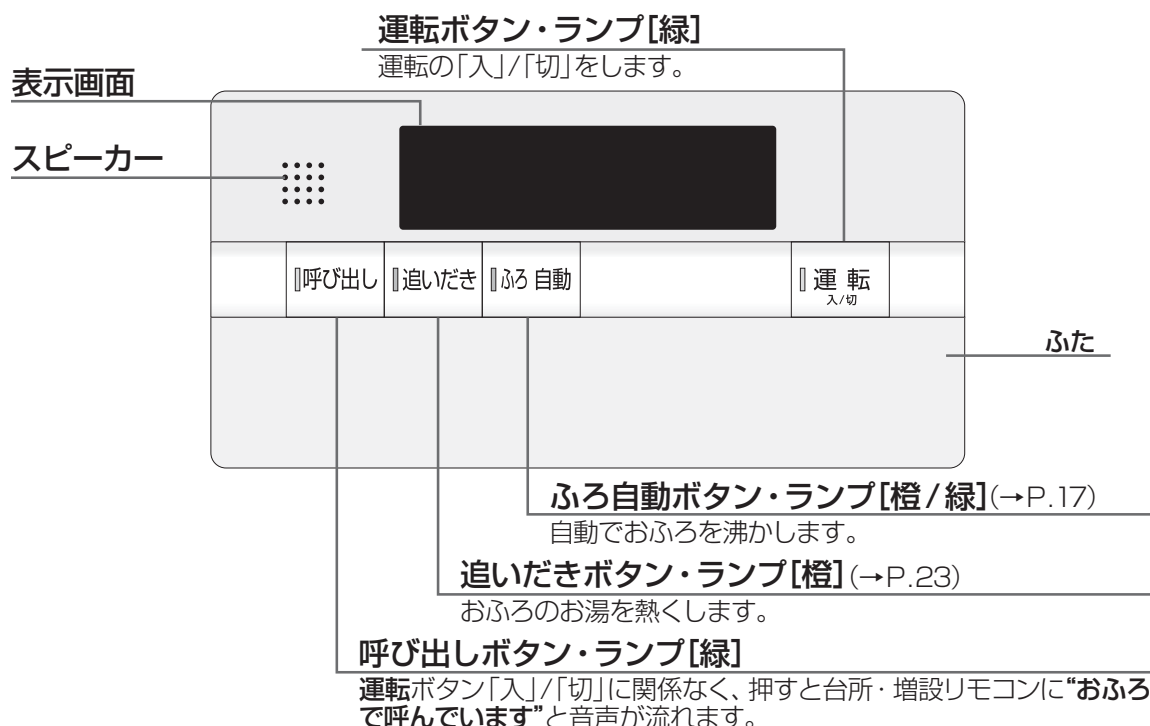


ご利用の前に

各部の名称とはたらき

■浴室リモコン FC-701V(別売品)

浴室に設置して使用します。給湯温度の設定や優先の切り替え、お風呂沸かしやお風呂沸かしに関する設定などの操作を行うことができます。通常はふたを閉じておいてください。



浴室リモコンのふたを開けると、以下のようなボタンがあります。

保温時間ボタン

保温時間を設定します。(→P.21)

たし湯ボタン

お風呂にお湯をたします。(→P.25)

ふろ水位ボタン

ふろ水位を設定します。(→P.21)

ふろ温度ボタン

ふろ温度を設定します。(→P.21)

ぬるくボタン

お風呂に水をたします。(→P.24)

エネルギーメーターボタン

ガス・湯の今の使用量を表示します。(→P.32)

予約ボタン

お風呂の予約をします。(→P.19)

優先ボタン

給湯温度調節の優先を切り替えます。(→P.16)

給湯温度ボタン(上下ボタン)

給湯温度の調節をします。

時刻設定ボタン

時刻を合わせるときに使用します。(→P.13)

音量ボタン

音量を変更します。(→P.28)

長押し→省電力の設定・解除をします。(→P.29)

各部の名称とはたらき

□表示画面

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

ふろ温度表示

おふろの沸き上げ温度を℃で表示します。

ふろ水位表示 / 保温時間表示

ふろ自動運転の設定時にふろ水位や保温時間を表示します。

凍結予防運転表示

凍結予防運転中に表示します。

ふろ予約表示

ふろ予約中に表示します。

ふろ水位バー

ふろ水位を水位バーで表示します。

音量表示

音量設定時に表示します。

時刻表示

現在時刻や予約時刻を表示します。

エラーコード表示

不具合時のエラーコードを表示します。

優先表示

この表示があるとき給湯温度の変更ができます



省電力表示

省電力に設定すると表示します。

クリーン表示

配管クリーン中に点滅します。

燃焼表示

機器の燃焼中に表示します。

給湯温度表示 / 高温表示

給湯温度を℃で表示します。
50℃以上に設定すると高温を表示します。

追いだき運転時に表示します

□ □ → □□ □□ → □□□□ → 消灯 → □ □

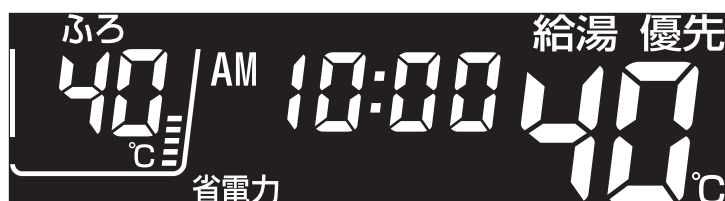
ふろ自動・たし湯・ぬるく・配管クリーン運転時に表示します

□ → □□ → □□□ → 消灯 → □

□トップ画面

浴室リモコンの「運転」を「入」にしたときに表示する画面です。

ふろ温度・現在時刻・給湯温度などを表示します。



各部の名称とはたらき

■台所リモコン MC-701V(別売品)

台所に設置して使用します。
給湯温度の設定や、ふろ自動・追いだき・予約運転・エネルギーなどの操作ができます。

■増設リモコン MC-701VS(別売品)

浴室や台所以外の部屋に設置して使用します。
給湯温度の設定やふろ自動運転の操作ができますが、追いだき・予約運転・エネルギー関係の操作はできません。

表示画面

追いだきボタン・ランプ[橙] (→P.23)

お風呂のお湯を熱くします。
増設リモコンにはありません。

スピーカー

運転ボタン・ランプ[緑]

運転の「入」/「切」をします。

ふろ自動ボタン・ランプ[橙/緑] (→P.17)

自動でお風呂を沸かします。

ふた

台所・増設リモコンのふたを開けると、以下のようなボタンがあります。

エネルギーボタン / 期間選択ボタン / エネルギー設定ボタン

ガス・湯の使用状況、CO₂の排出状況を知りたいときに使用します。
増設リモコンにはありません。

キッチンタイマーボタン

30秒～60分のタイマーを利用できます。
(→P.26)

音量ボタン

音量を変更します。(→P.28)

予約ボタン

お風呂の予約をします。(→P.19)
増設リモコンにはありません。

給湯温度ボタン(上下ボタン)

給湯温度の調節をします。

エネルギーメーターボタン

ガス・湯の今の使用量を表示します。(→P.32)
増設リモコンにはありません。

時刻設定ボタン

時刻を合わせるときに使用します。(→P.13)

□表示画面

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

ふろ予約表示

ふろ予約中に表示します。

達成度表示

ガス・湯の目標値に対する達成度をイラストで表示します。

クリーン表示

配管クリーン中に点滅します。

省電力表示

省電力に設定すると表示します。

時刻表示

現在時刻や予約時刻を表示します。

エラーコード表示

不具合時のエラーコードを表示します。

優先表示

この表示があるとき給湯温度の変更ができます。

凍結予防表示 F

凍結予防運転中に点滅表示します。

燃焼表示

機器の燃焼中に表示します。

給湯温度表示 / 高温表示

給湯温度を℃で表示します。
50℃以上に設定すると高温を表示します。

音量表示

音量設定時に表示します。

ご利用前の準備

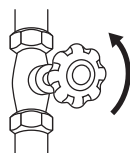
はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。

■機器の準備

1 機器や機器周辺の点検・確認を行う

■点検のポイント(→P.46～47)をご覧ください。

2 給水元栓を全開にする



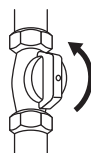
機器の下部にあります。

3 給湯栓を開ける



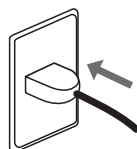
水が出ることを確認したら閉じます。

4 ガス栓を全開にする



機器の下部にあります。

5 電源プラグをコンセントに差し込む



機器の周辺にあります。

0000

リモコンの画面上にを表示します。表示が消えたら、リモコンの操作ができます。

■工場出荷時の設定について

工場出荷時の設定は以下のようになっています。

タイプ	給湯温度	ふろ温度	ふろ水位	保温時間
オート	40℃	40℃	通常浴槽設定 6 (180ℓ)	4時間

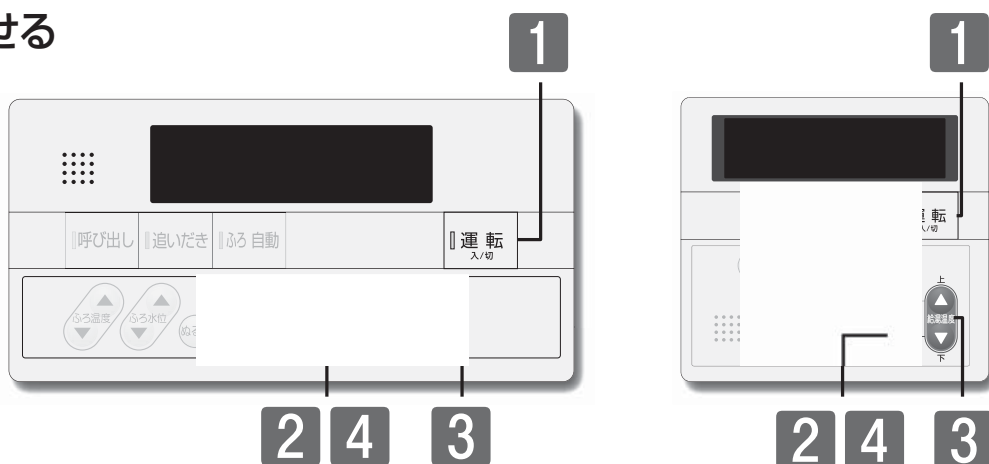
※浴槽の種類や施工条件によって、リモコンに表示される温度や水位は実際と多少異なる場合があります。リモコンの表示は目安としてお考えください。

！お知らせ

- この機器は、ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯を使用すると、条件によっては給湯栓から出るお湯の量が少なくなったり、お湯がぬるくなったりすることがあります。

ご利用前の準備

■現在時刻を合わせる



●現在時刻の設定がされていない場合には、エネルギーック(→P.33)や予約を利用できません。
 (予約)や(エネルギーック)を押すと、“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。必ず現在時刻を設定してください。

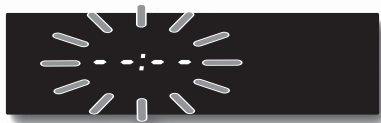
いずれかひとつのリモコンで操作します。

1 運転入/切 を「入」にする



現在時刻をセットしてください

2 ふたを開け(時刻設定)を押す



現在時刻です
上下ボタンで入力してください

3 給湯温度で時刻を合わせる



※給湯温度ボタンは1回押すと1分単位。
 押し続けると10分単位。さらに押し続けると1時間単位で進み(戻り)ます。

！設定時にはAM(午前)/PM(午後)に
 注意してください。

▲は時刻が進みます。

▼は時刻が戻ります。

時刻合わせは、時刻が点滅している
 間に、設定してください。

4 (時刻設定)を押す



セットされました

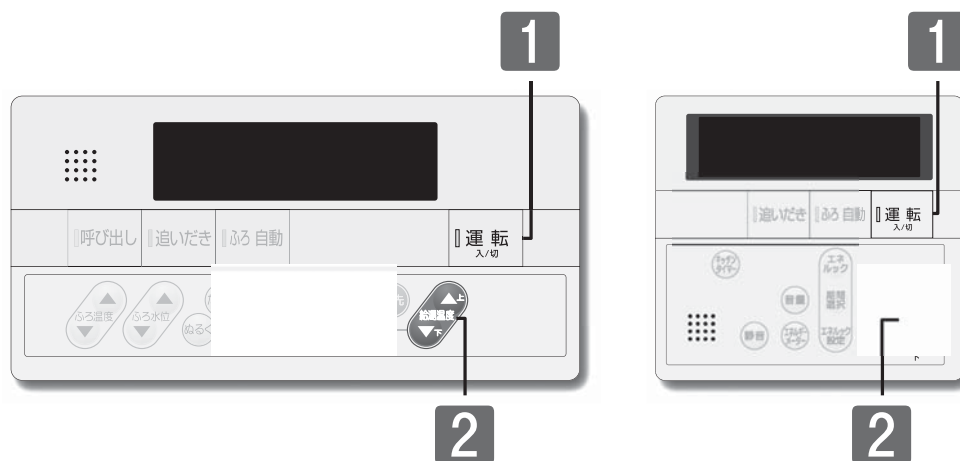
※時刻設定ボタンを押さなくても、しばらく
 押し操作がないと設定を完了します。
 このとき音声ガイドは流れません。



- 電源投入直後や停電からの再通電時は、リモコンの画面上に「E」が表示されます。表示が消えるまで、約40秒程度かかります。その間はリモコンの操作はできません。消えるまで待ってから運転ボタンを「入」にしてください。
- 出荷時の時刻表示は「--:--」になっています。停電などで通電が止まった場合も出荷時の表示に戻りますので、通電後時刻の再設定をしてください。
- 時刻の設定がされていない場合には、運転ボタンを「入」にするたびに“現在時刻をセットしてください”と、音声ガイドが流れます。また、給湯温度を50℃以上に設定していた場合には“給湯温度〇℃です 熱い温度にセットされました 注意してください”と、音声ガイドが流れます。
- 設定時に上下ボタンを押さないまましばらくたつと完了となりますが、音声ガイドは流れません。
- 時刻の設定終了後は、運転ボタンを「入」にするたび、給湯温度を音声ガイドがお知らせします。

お湯を使うには

■お湯を使用する



警告

- 給湯・シャワーなどを使うときは、給湯温度を確認し、手のひらで温度を確かめてから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- シャワー使用中は使用者以外、温度の変更や優先の切り替え・**運転**ボタンを「切」にしない。突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。**必ず、浴室リモコンを優先**(→P. 16)にして、給湯温度を確認してから使用してください。

1 運転を「入」にする



給湯温度 40°Cです

2 ふたを開け 給湯温度で調節する



※給湯温度ボタンは1回ずつ押してください。
押し続けても温度は変わりません。



給湯温度 42°Cにセットされました

- ▲は温度が上がります。
- ▼は温度が下がります。

※給湯温度が変更できない場合は、**リモコンの給湯温度が変更できないときは**(→P. 15)をご覧ください。

お湯を出す 給湯栓を開ける



給湯栓を開けると $\uparrow$ をすべてのリモコンに表示します。

お湯を止める 給湯栓を閉じる



他の場所でお湯が使われていなければ、リモコンから $\uparrow$ が消えます。

□給湯温度の目安

給湯温度の目安(単位: °C)

40: 工場出荷時

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	48	50	55	60
食器洗いなど				シャワー・給湯など				給湯など				高温			

※50°C以上に設定した場合には、リモコン画面に**高温**を表示し、警告音声流れます。



給湯温度、50°Cです 熱い温度にセットされました 注意してください

お湯を使うには

！お知らせ

- 給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温などにより必ずしも一致しません。給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏場など水温が高い場合、食器洗いなどに設定しても給湯温度より高い湯温となることがあります。必要に応じて水を混ぜ、湯温を確認してからお使いください。
- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のためエラーコード“011”を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉じ、**運転**ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にしてからご使用ください。
- ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯中に給湯・シャワーを使用すると、出湯を停止するまでふろ自動運転やたし湯が一時中断(待機)します。

お願い

- 55℃以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。変更をしたいときは、一旦給湯を止めてから設定してください。
- やけど対策上、サーモスタット式混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。



- 給湯使用中でも**優先**の表示があるリモコンでは温度の変更ができます。
- 省電力待機中(→P.29)に**給湯温度**ボタンを押すと、トップ画面を表示するとともに現在の給湯温度を音声ガイドでお知らせします。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー混合水栓をご使用の場合、給湯栓の機種や構造により、混合水栓の設定温度を「高温」にしても水が混合され、湯温がぬるくなる場合があります。
- サーモスタット式混合水栓をご使用の場合、水栓によってはハンドルの設定よりぬるいお湯が出る場合があります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度(ハンドルの温度)より5～10℃高めにしてください。

□リモコンの給湯温度が変更できないときは

リモコンで給湯温度を調節するには、リモコンの画面に**優先**の表示が必要です。

給湯温度ボタンを操作しても給湯温度の変更ができない場合は、リモコンに**優先**が表示しているか確認してください。**優先**がない場合は□浴室リモコンに優先がないとき(→P.16)または□台所(増設)リモコンに優先がないとき(→P.16)をご覧ください。

優先とは

給湯温度の調節ができることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには、**優先**を表示しています。

1つの機器から供給されている給湯栓からは、常に同じ温度のお湯が出ます。

そのため、お湯を使用中に使用者以外が給湯温度を変更すると、出ているお湯の温度が変わり、使用者がやけどをしたり、思わぬ事故の原因になります。

このような事故などを防ぐために、**優先**があるリモコンのみが給湯温度を変えられるようになっています。

優先は、「入」にしたリモコンに表示します。



- 台所・増設リモコンで**優先**がないときに**給湯温度**ボタンを押すと“給湯温度、浴室優先です 運転ボタンを入れ直してください”と、音声ガイドが流れます。
- 台所・増設リモコンの「切」/「入」で優先を切り替える場合は、他の場所でお湯が使われていないことを確認のうえ、行ってください。

お湯を使うには

■優先を切り替える



□浴室リモコンに優先がないとき A または B の方法で行う。

【浴室リモコンで行う】

A ふたを開け **優先** を押す



給湯温度、浴室優先です

浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、**優先**が表示します。

【浴室リモコンで行う】

B ふたを開け **給湯温度** を押す



給湯温度、浴室優先です

浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、**優先**が表示します。

□台所(増設)リモコンに優先がないとき C または A の方法で行う。

【台所(増設)リモコンで行う】

C **運転** を「切」にする

再度 **運転** を「入」にする



①他の場所でお湯が使われていないことを確認のうえ、行ってください。

給湯温度、42°Cです

台所リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、**優先**を表示します。

【浴室リモコンで行う】

A ふたを開け **優先** を押す



給湯温度、台所優先です

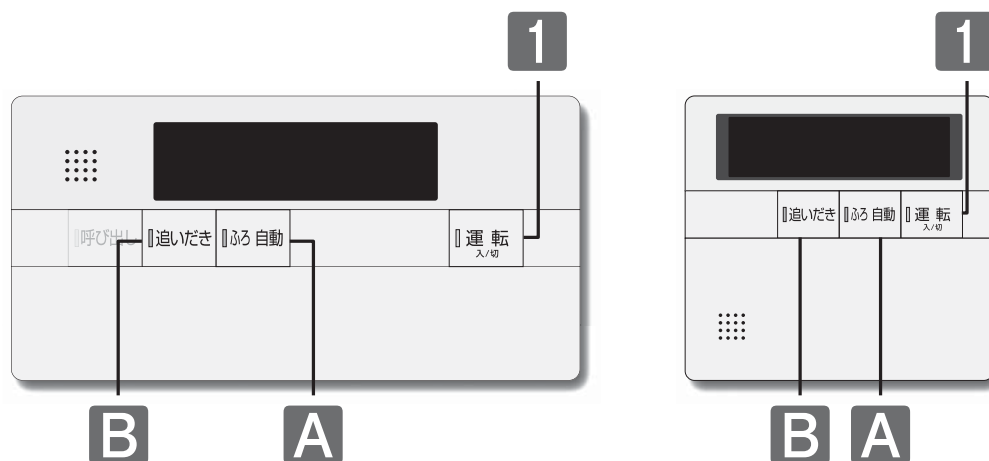
台所リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、**優先**が消えます。



- 給湯優先切り替え時には、55°Cより高い設定温度にはなりません。優先を切り替えたとき、切り替え前の給湯温度が60°Cだった場合、自動的に55°Cにセットされます。
- 優先切り替え後の給湯温度が、50°C以上の場合には“給湯温度、○°Cです 熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。
- 別売の増設リモコンを設置している場合
 - ・台所リモコンと増設リモコンは連動しています。台所リモコンの**運転**ボタンを「入」にすると、台所リモコンと増設リモコンに**優先**が表示され、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

お風呂を沸かす《ふろ自動運転》

■お風呂を沸かす



警告

- 入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- お風呂の沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。

まずは準備

◎ふろ温度・ふろ水位・保温時間は合っていますか？（変更は(→P.21)）

◎浴槽の排水栓をしてふたをする

1

運転
入/切

を「入」にする



給湯温度、40°Cです

ふろ自動

を押す



お湯張りを始めます
お風呂の栓はしましたか

ふろ自動ランプ[橙]が点灯、湯・火を表示します。

設定した水位に近くなると

もうすぐお風呂に入れます

お風呂が沸き上がると保温に入ります

保温時間内はふろ温度を保つため、定期的に沸き上げます。



お風呂が沸き上がると

お風呂が沸きました

ふろ自動ランプが[緑]に変わり、保温を表示し、湯・火は消えます。

保温時間が終了するとふろ自動ランプ[緑]と保温が消えます。

ふろ自動中止

ふろ自動

を押す



ふろ自動ランプが消えて、お風呂沸かしや保温を終了します。

お風呂を沸かす《ふろ自動運転》

！お知らせ

- 以下の場合は“もうすぐお風呂に入れます”の音声ガイドが流れません。
 1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
 2. 残り湯があってふろ自動運転を行ったとき。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。
■ **お風呂を沸かし直す**(→下記参照)をご覧ください、再度お風呂を沸かし直してください。
- お風呂のお湯(水)を抜くときは、ふろ自動ランプが消灯していることを確認してください。ふろ自動ランプが点灯しているときは、**ふろ自動**ボタンを押してふろ自動ランプを消灯してください。



- ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共にリモコンの燃焼表示がついたり消えたりすることは異常ではありません。
- 台所(増設)リモコンのふろ自動運転開始の音声は“**ふろ温度〇℃です**”(〇はお客さまが設定したふろ温度)に続いて“**お湯張りを始めます お風呂の栓はしましたか**”と流れます。
- 保温時のお風呂沸かしは、気温等により約15～60分の間隔で行います。
- ふろ自動運転のお湯張り中に給湯・シャワーを使用するとお湯張りが一時中断(待機)します。給湯・シャワーの出湯を停止すると、ふろ自動運転を再開します。

■お風呂を沸かし直す

翌日、沸かし直しをする場合は残り湯の量で沸かし方を選べます。

【お湯の量が少なくたし湯(水)が必要な場合】

A **「ふろ 自動」**を押す



お湯張りを始めます
お風呂の栓はしましたか

ふろ自動ランプ[橙]が点灯、 を表示します。

【お湯の量が豊富でたし湯(水)が不要の場合】

B **「追いだき」**を押す



お風呂を沸かします

追いだきランプ[橙]が点灯、 を表示します。

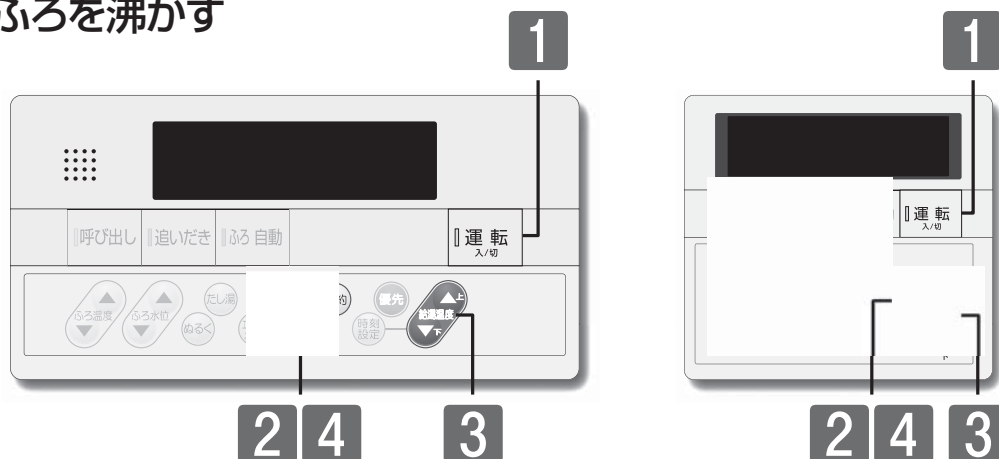
！お知らせ

お風呂を沸かし直す際は以下の点にご注意ください。

- ・ 残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より低い場合は、設定量より残り湯の分だけ水位が増えますので、浴槽のあふれに注意してください。
- ・ 残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より高い場合は、たし湯量がばらつくことがあります。
特に残り湯が設定したふろ水位付近のときは、**お風呂のお湯を熱くする**(→P.23)と同じ操作で行ってください。
残り湯が設定したふろ水位付近でふろ自動運転を行うと、あふれるおそれがあります。
- ・ 残り湯と設定温度の差が少ない(約5℃未満)場合、お湯張りをしないときがあります。その場合は希望の水位まで給湯栓からお湯を入れるか、たし湯ボタンを押してたし湯してください。

お風呂を沸かす《予約運転》

■予約でお風呂を沸かす



- 予約の設定は、予約時刻の60分前までに行う。
- 予約運転ごとに毎回実施する。

まずは確認

- ◎現在時刻・予約時刻は合っていますか？(→P.13)
- ◎風呂温度・風呂水位・保温時間は合っていますか？(→P.21)

そして準備

浴槽の排水栓をしてふたをする

1 運転 入/切 を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け 予約 を押す



風呂予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力してください

🕒を表示し、予約時刻が点滅します。
※工場出荷時はPM6:00になっています。

3 給湯温度 で予約時刻を設定する



▲は時刻が進みます。
▼は時刻が戻ります。
予約時刻合わせは、予約時刻が点滅している間に、設定してください。
※設定した予約時刻は、次回変更するまで記憶しています。

※予約時刻の変更をしない場合は 4 へ

4 予約 を押す



風呂予約されました
お風呂の栓はしましたか

予約時刻の点滅から現在時刻の点灯に戻ります。

お風呂を沸かす《予約運転》

予約解除

【🕒を表示している場合】

ふたを開け **予約** を押す



ふろ予約、解除されました

🕒が消えて予約を解除します。

【お風呂沸かしが始まっている場合】

|| ふろ 自動 を押す



ふろ自動ランプ[橙]・🔥が消灯します。

浴室リモコンでは湯も消灯します。



- ふろ予約の沸き上がり完了時刻は、予約運転中のお湯の使用や残り湯があるときや気温によって、多少前後する場合があります。
- 変更した予約時刻は、次回変更するまで記憶されます。
- ふろ予約後に**運転**ボタンを「切」にしてもふろ予約運転は行われます。
また、ふろ予約後(🕒表示中)は**運転**ボタン「入」/「切」に関係なく、**予約**ボタンを押すと予約は解除されますのでご注意ください。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など通電が止まると、予約は解除されます。
再通電後、現在時刻を合わせてから再度**予約**ボタンを押してください。
- 現在時刻が「--:--」になっている場合、**予約**ボタンは使用できません。押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。

ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには

■おふろ沸かしの設定を変更する



1 「運転」を「入」にする



給湯温度、40℃です

□ふろ温度の設定

A ふたを開け
「ふろ温度」で調節する



ふろ温度41℃にセットされました

※省電力待機中に「ふろ温度」ボタンを押すと「ふろ温度、〇℃です」と音声がかかります。

※ふろ温度につきましてはふろ温度の目安をご覧ください。

□ふろ水位の設定

B ふたを開け「ふろ水位」を押す
「ふろ水位」で調節する



ふろ水位6です

水位決定後、しばらくたつと設定を完了します。



ふろ水位5にセットされました

※ふろ水位につきましてはふろ水位の目安をご覧ください。

□保温時間の設定

C ふたを開け「保温時間」を押す
「保温時間」を押して調節する



保温時間4時間です 変更する場合はもう一度ボタンを押してください

保温時間決定後、しばらくたつと設定を完了します。



保温時間5時間にセットされました

※保温時間につきましては保温時間の目安をご覧ください。

ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには

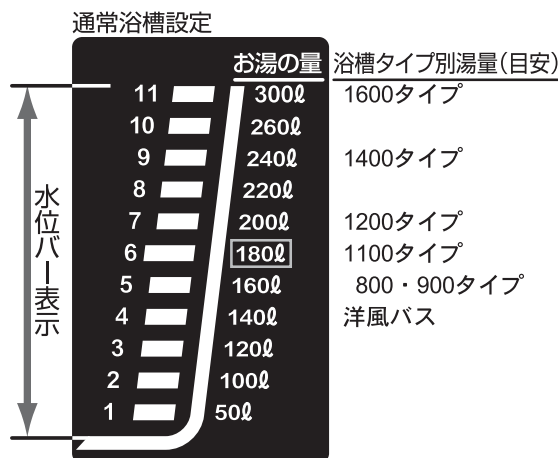
ふろ温度の目安(単位: °C)

40 : 工場出荷時

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい							標準			あつい					

ふろ水位の目安

☐ : 工場出荷時



※ふろ水位とは、浴槽に入れるお湯の量のことです。

保温時間の目安(単位: 時間)

4 : 工場出荷時

0	1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---

※保温時間ボタンを押すたびに、1時間ずつ保温時間が増えます。8時間に達すると0時間に戻り、再び1時間ずつ保温時間が増えます。

お知らせ

- 夏場など水温が高い場合、ふろ温度を低い温度に設定すると、お湯張り時に燃焼しない場合があります。

お願い

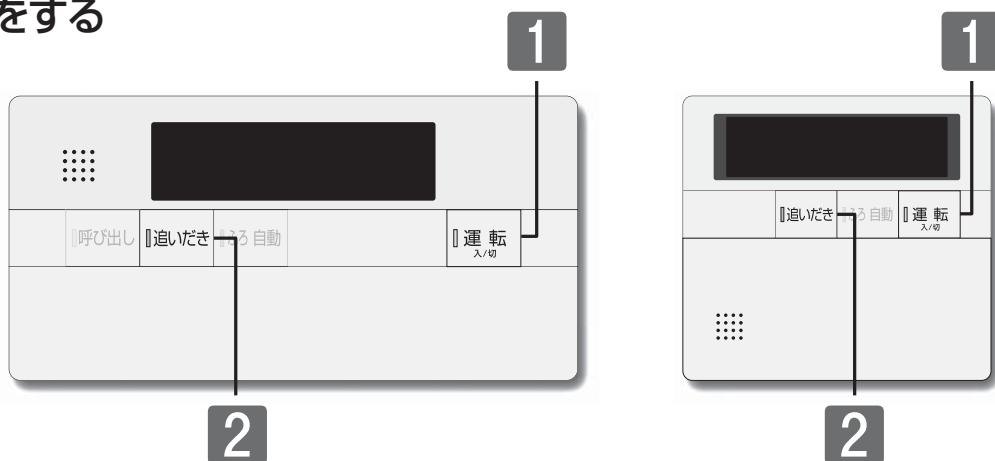
- 浴槽の種類や施工条件・外気温などによって、表示される温度や水位は実際と多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、水位を高めめにセットするとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してから好みの水位に調節することをおすすめします。



- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ふろ自動運転の保温中でもふろ温度・保温時間の設定を変更することができます。
- 保温時のおふろ沸かしは、気温などにより約15～30分の間隔で行います。

お風呂のお湯を熱くする

■追いだきをする



警告	●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
注意	●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯(水)があることを確認する。 ●浴室リモコンで追いだきの操作を何度も繰り返さない。追いだきを繰り返すと、最高約50℃まで追いだきします。やけどにご注意ください。

1 運転入/切 を「入」にする



給湯温度、40℃です

2 追いだきを押す



お風呂を沸かします

追いだきランプ[橙]が点灯、・を表示します。

追いだきが終了すると

お風呂が沸きました

追いだきランプ[橙]・・が消えます。

【以下の条件で沸き上げて自動的に停止します】

浴室リモコンで操作	浴槽の湯の温度+2℃まで沸かします。(追いだき時の最高温度：50℃) 浴槽の湯の温度が設定したふろ温度より2℃以上低い場合は、設定したふろ温度まで沸かします。
台所リモコンで操作	設定したふろ温度まで沸かします。

もっと熱く

追いだき運転終了後に浴室リモコンの 追いだきを押す

追いだき中止

追いだきを押す

お願い

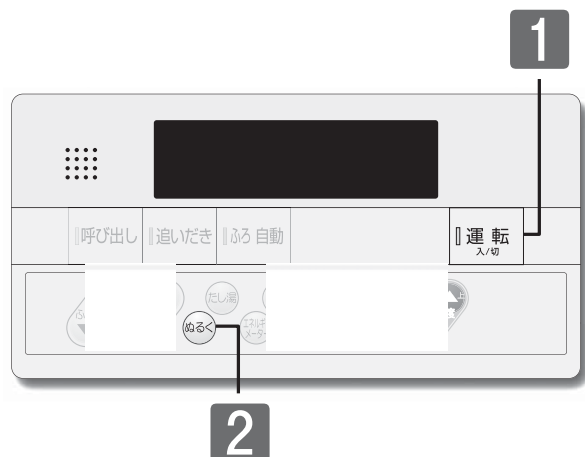
- 浴室リモコンの追いだきボタンは長く(5秒以上)押さないでください。入浴中に追いだきボタンを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。
誤って押し続けた場合(追いだきランプが点滅)はもう一度追いだきボタンを押してください。



- 台所リモコンで追いだきボタンを押すと“お風呂を○℃に沸かします”(○℃はふろ温度)と、音声ガイドが流れます。

お風呂のお湯をぬるくする

■たし水をする



1 「運転」を「入」にする



2 ふたを開けぬるくを押す



水を表示します。

※約12ℓの水を入れます。
終了すると水が消えます。

もっとぬるく ぬるく運転終了後にぬるくを押す

ぬるく中止 ぬるくを押す

！お知らせ

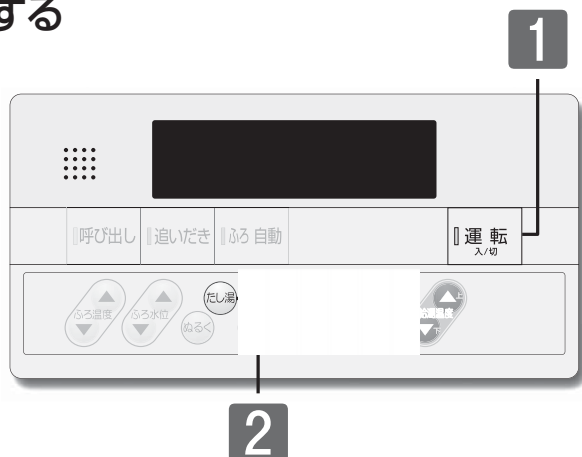
- ぬるく運転中に給湯・シャワーを使用すると、ぬるく運転は一時中断します。給湯・シャワーを終了すると、ぬるく運転を再開します。



- ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。
- 給湯・シャワーの使用中は、ぬるくボタンを使用できません。押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。

お風呂のお湯をふやす

■たし湯をする



1 運転 入/切 を「入」にする



給湯温度、40℃です

2 ふたを開け たし湯 を押す



お湯をたします

湯・炎を表示します。
※約24ℓのふろ温度のお湯を入れます。
終了すると湯・炎が消えます。

もっと増やす たし湯運転終了後に たし湯 を押す

たし湯中止 たし湯 を押す

！お知らせ

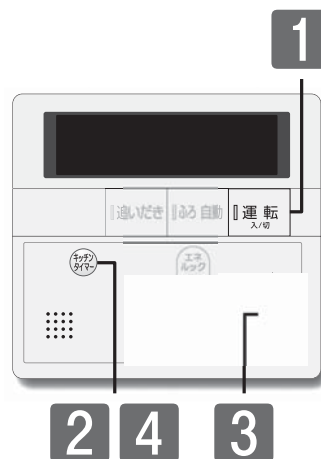
- たし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとたし湯を一時中断(待機)します。給湯・シャワーの出湯を停止するとたし湯を再開します。
- 夏場など水温が高い場合、ふろ温度を低い温度に設定すると、お湯張り時に燃烧しない場合があります。

お願い

- たし湯ボタンを5秒以上押し続けると、手動配管クリーン運転を始めます。(→P.27)
誤って押し続けた場合はもう一度たし湯ボタンを押してください。

キッチンタイマー

■キッチンタイマーを使う



1 運転入/切を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開けキッチンタイマーを押す



上下ボタンで入力してください

3 給湯温度でタイマー時間を設定する



※キッチンタイマーは30秒単位で最大60分まで設定できます。
※初回以降は前回設定したタイマー時間を表示します。

4 キッチンタイマーを押す



タイマー時間を表示し、カウントダウンを始めます。

※カウントダウンは1秒刻みで表示します。

※キッチンタイマーボタンの押し操作がしばらくしない場合も、開始音(チャイム)を鳴らし、カウントダウンを始めます。

終了するとチャイムでお知らせします。

タイマー中止 キッチンタイマーを押す



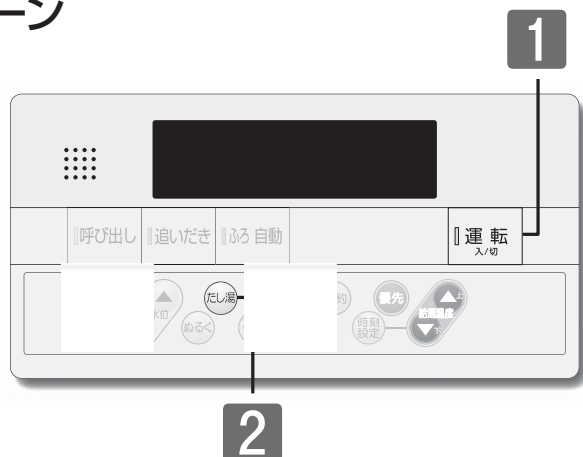
現在時刻を表示します。

基本の使い方

便利な使い方

知っていると便利な機能

■配管クリーン



□手動配管クリーン

1 運転 入/切 を「入」にする



給湯温度、40℃です

2 ふたを開け(たし湯)を5秒以上長押しする



配管クリーンを始めます

配管クリーンが点滅します。
3ℓのお湯(ふろ温度)を1分弱で流し、自動停止します。

クリーン中止

ふたを開け(たし湯)を押す



配管クリーンを終わります

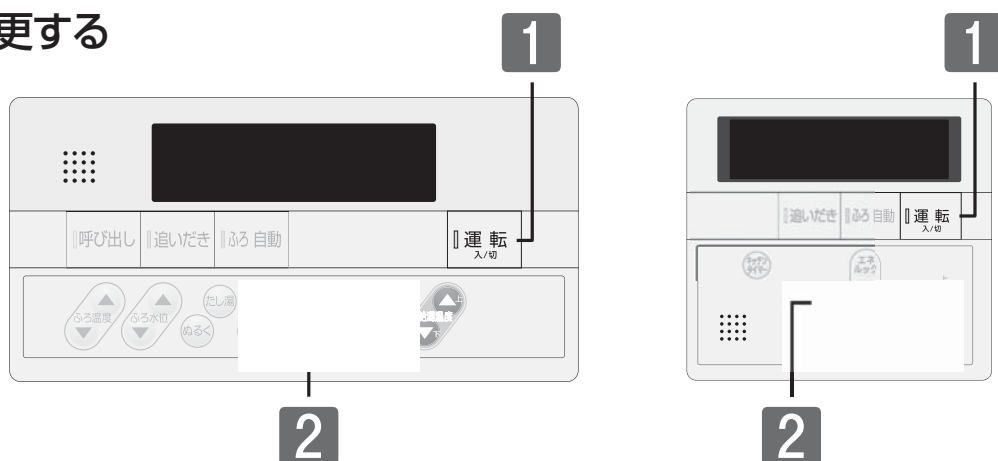
配管クリーンが消えます。



- 手動配管クリーン動作中に給湯・シャワーを使用すると、手動配管クリーンを待機します。給湯・シャワーを終了すると、再開します。

設定の変更する

■音量を変更する



音量はリモコン別に変更できます。

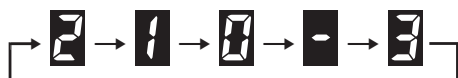
1 運転入/切を「入」にする



給湯温度 40℃です

2 ふたを開け 音量 を押す

音量ボタンを押すたびに以下のように音量が変わります。



音量2です 変更する場合はもう一度ボタンを押してください



音量1です

しばらく音量ボタンの押し操作がないと、設定を完了します。



音量1にセットされました

音量の目安

2 : 工場出荷時

音量	音声の大きさ	リモコン操作音	警告音声 呼び出し音声	音声ガイド 上段: (音量) を押したとき 下段: 設定完了時
3	大	大	大	音量3です 音量3にセットされました
2	中	中	中	音量2です 音量2にセットされました
1	小	小	中	音量1です 音量1にセットされました
0	無音声	小	中	音声を消します (音声ガイドはありません)
-	無音声	無音	中	音を消します (音声ガイドはありません)



- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 音量を 0・- に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、警告音声や呼び出しボタンが押されたときのチャイム・呼び出し音声は音量“中”で流れます。
- 音量の設定は連動していません。それぞれのリモコンで設定を行ないます。

便利な使い方

設定の変更をする

■省電力を解除する



リモコンは、お湯の使用やリモコン操作をしないまま5分以上たつと、画面表示を消して電力の節約をします。省電力を解除するには次の操作を行ってください。

1 運転 入/切 を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け(音量)を5秒以上長押しする



省電力、解除されました
省電力が消えます。

設定を戻す

1 ~ **2** の操作をする



省電力、セットされました
省電力を表示します。

省電力待機中に画面を表示させるには

各ボタンを押すと表示します

！お知らせ

右図のボタンは、押すと画面が表示されると同時に、動作を開始します。

呼び出し

追いだき

ふろ 自動

リモコン操作をしなくてもこんな場合は表示します

- ・お湯を使用しているとき
- ・給湯温度が50°C以上に設定されているとき
- ・ふろ自動運転中(保温を含む)

お願い

- 省電力待機中に給湯・シャワーを使うときは、画面を表示して給湯温度を確認してからご使用ください。



- 省電力は運転ボタンの「入」/「切」では解除できません。
- 省電力待機中は、運転ランプが少し暗くなります。
- 台所・増設リモコンの省電力待機中に、浴室リモコンの呼び出しボタンが押されたときは、台所・増設リモコンは画面の表示をしないまま“おふろで呼んでいます”と音声のみが流れます。

エネルックとは

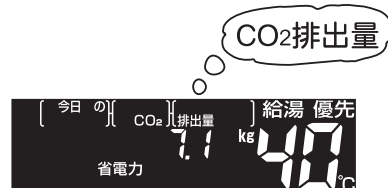
エネルックとは、ガスふろ給湯器で使用したガス・お湯(水道)の消費量を金額で表示すると共に、目標に対する達成状況を表示することでエネルギーの消費を身近に感じることできる機能です。

□こんな表示ができます□

エネルギーの目安使用量やCO₂の排出量を確認できます(→P.33)



※ガス・湯の目安の使用量をそれぞれ日・月・年単位で確認することができます。



※ガス・湯を合わせたCO₂排出量を日・月・年単位で確認することができます。

エネルギーの瞬時目安使用量が確認できます(→P.32)



☆単価や目標金額を設定すると☆

エネルギーの目安使用料金が確認できます(→P.33)



※ガス・湯の目安の使用料金と達成状況をそれぞれ日・月・年単位で確認することができます。

目標の設定で省エネ意識を高めます



エネルギーの達成状況をメイン画面に表示できます(→P.36)

※ガス・湯・CO₂いずれかの達成状況を台所リモコンのメイン画面に表示することができます。



※達成状況に応じて4種類のイラストで表示します。



エネルギーとは

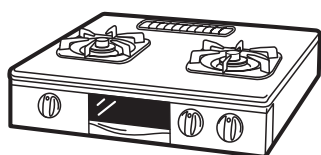
□表示される数値について□

エネルギーで表示されるガス・水道の数値は本体機器で使った目安の使用量です。
お手元に届くガス・水道の検針量とは異なります。

ガス・水道の使用量は給湯機器内を通った分が表示されます。

機器を通らずに使用したガス・水道は使用量の中には含まれません。

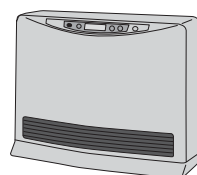
例えば次のような製品の使用分は含まれません。



ガスコンロ



トイレ



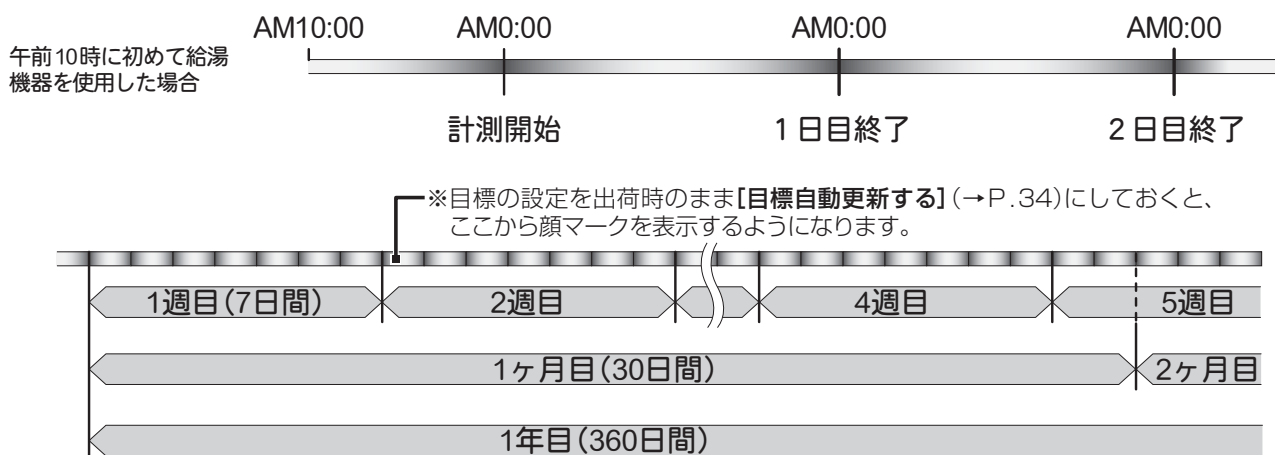
ガスストーブ

エネルギーで表示されるガスや水道使用料金には基本使用料は含まれません。

ご家庭で支払われる使用料金は、リモコンに表示される金額で請求されることはありません。各メーターの使用量に応じて請求されます。

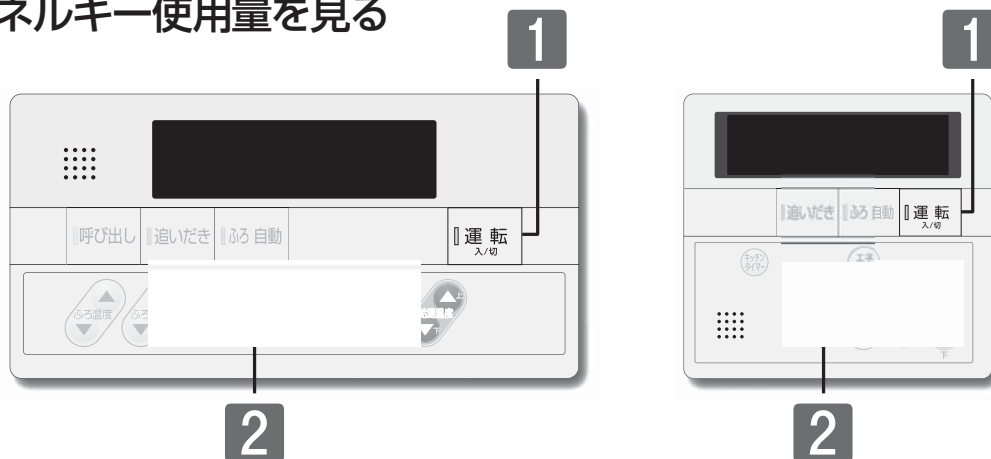
☆日にちは経過日数で管理します☆

初めて電源を入れた日または経過日数をリセット後の午前0時から計測を始めます。



エネルギー

■現在のエネルギー使用量を見る



1 運転 入/切 を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け  を押す



ガスの使用量を表示します。

 を押すたびに表示が切り替わります



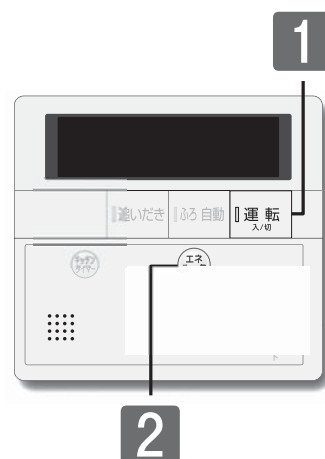
エネルギー

メモ

- 現在のエネルギー使用量は、金額での表示はできません。
- 現在のエネルギー使用量を表示したまま省電力機能がはたらいたり、運転ボタンを「切」にすると、次回画面を表示するときは、現在時刻表示になります。

エネルギーック

■今までに使ったエネルギー量を見る

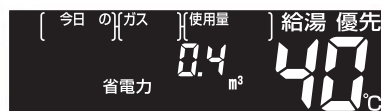


1 「運転」を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開け「エネルギーック」を押す

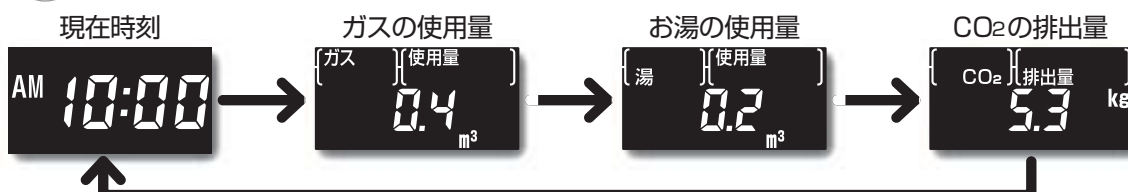


ガスの使用量を表示します。



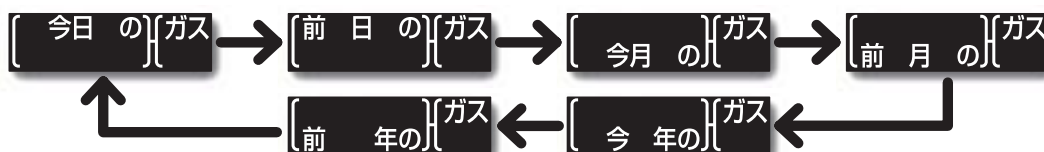
■料金単価や目標金額を設定する(→P.34)で単価を設定している場合は使用量と使用金額を交互に表示します。

「エネルギーック」を押すたびに表示が切り替わります



※現在時刻に戻らずに終了した場合、次回は前回最後に表示した項目・期間から表示します。

「エネルギーック」表示中、「期間選択」を押すたびに期間が切り替わります



また、「エネルギーック設定」を押している間、期間別の目標量を表示します

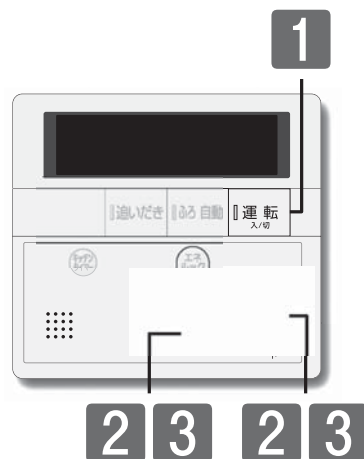
※■料金単価や目標金額を設定する(→P.34～35)で単価や目標金額を設定している場合は、目標量と目標金額を交互に表示します。



- 現在時刻を設定していない場合は、エネルギーックボタンを押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴り、利用できません。
- 単価を設定していない場合は、量(m³)で表示します。
- “目標金額を設定していない”または、“計測開始から1週間経過していない”場合は、期間別の目標量を表示することはできません。エネルギーック設定ボタンを押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。
- 目標を設定している場合はエネルギーック画面に達成度のイラスト(→P.37)を表示します。

エネルギー

■料金単価や目標金額を設定する



1 運転 入/切 を「入」にする



給湯温度、40℃です

2 ふたを開け エネルギー設定 を押す



で設定する



目標の自動更新を

Auto (する)
OFF (しない)

上下ボタンで入力してください

3 エネルギー設定 を押す



で設定する



ガスの料金単価を上下ボタンで入力してください

※入力単位は以下の通りです。
単価…………… 0～999円(1円単位)
目標(金額)…… 100～99900円(100円単位)
10.00万円～99.99万円(100円単位)
目標(量)………… 0～9999m³

Auto

目標自動更新する
(工場出荷時)

単価のみを設定します。

目標は過去のデータから自動で目標を設定します。

エネルギー設定 を押すたびに単価項目が切り替わります



- 目標とするデータは前年同月(12ヶ月前)のデータが適用されます。
前年同月(12ヶ月前)のデータがない場合は前月データが適用されます。
新規使用でデータがない場合やデータの初期化が行われた場合は、1週間経過するまで、目標を表示しません。
1週間経過後は1週間のデータを1ヶ月に換算し、目標として設定します。
- 単価を設定するとエネルギー(→P.33)を金額と量で表示します。
0円で設定するとエネルギー(→P.33)を量で表示します。

OFFを選択の場合は次ページへ

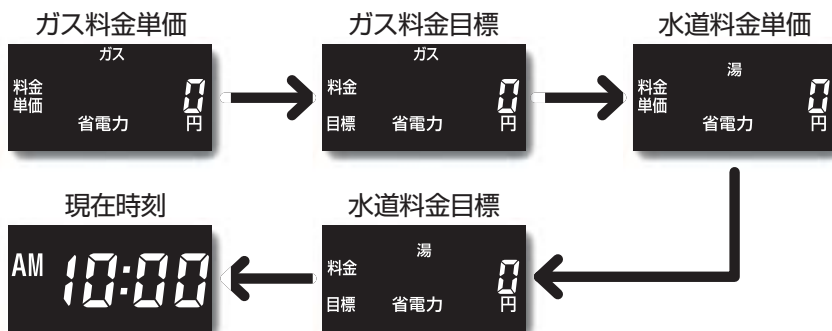
エネルギー

OFF

目標自動更新しない

単価と目標を設定します。

エネルギー設定を押すたびに設定項目が切り替わります



【料金単価を入力した場合】

ガス
料金単価
省電力
200円

ガス
料金目標
省電力
6000円

ガスの1か月の料金目標を上下ボタンで入力してください

【料金単価を入力しない(0円の場合)】

ガス
料金単価
省電力
0円

ガス
目標
省電力
30 m³

上下ボタンで入力してください

※料金単価を0円で設定した場合は、料金ではなく量で目標を設定します。

- 単価を0円で設定した場合は、目標を量で設定します。
- 目標を量で設定した後で単価を設定すると、目標の量を金額に換算して表示します。
- 単価および目標金額が設定されているときに単価を0円に設定すると、変更前の単価で目標金額を量に換算して表示します。



- 設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ガス・水道料金は[使用量のお知らせ]などを参考にしてください。(各明細書について不明な場合は各事業者にお問い合わせください)

エネルギー

■エネルギーの設定を変更する



1 運転入/切を「入」にする



給湯温度、40°Cです

2 ふたを開けエネルギー設定を2秒以上押す



ガスのCO₂排出係数を上下ボタンで入力してください

3 給湯温度で変更する



エネルギー設定を押すたびに設定項目が切り替わります 設定の変更は給湯温度で行います

エネルギー設定	CO ₂ 排出係数		達成度(顔マーク)表示	目標警告音
	ガス ガス CO ₂ 2.29	湯(水道) 湯 CO ₂ 0.36		
音声ガイド	ガスのCO ₂ 排出係数を上下ボタンで入力してください	水道のCO ₂ 排出係数を上下ボタンで入力してください	達成度を表示する項目を上下ボタンで入力してください	上下ボタンで入力してください
出荷時設定	都市ガス: 2.29kg LPガス: 6.00kg	0.36kg	ガス	On
給湯温度	0 ~ 9.99kgの範囲内で設定			On: 警告音を鳴らす OFF: 警告音を鳴らさない

※目標警告音の画面でエネルギー設定を押すと設定を終了します。



●設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。

エネルック

□CO₂排出係数について

CO₂の排出量を求めるには、ガス・水道それぞれの使用量に「排出係数」をかけて求めます。
工場出荷時の排出係数は以下の出典によるものです。

- ・都市ガス 2.29 kg-CO₂/Nm³（出典 / 地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条）
- ・プロパンガス 6.00 kg-CO₂/Nm³（出典 / 地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条）
- ・水道 0.36 kg-CO₂/m³（出典 / 環境省発表資料「家庭からの二酸化炭素排出量算定用 排出係数一覧」（平成 18 年 6 月更新））

□達成度(顔マーク)表示について

達成度表示は、設定した目標(量・金額)限度に対して、現在の実績が多いか少ないかその割合によって、4種類の顔マークで表示されます。

※【目標自動更新する】(工場出荷時)(→P.34)の場合、エネルック計測開始1週間経過すると達成度(顔マーク)を表示します。
また、【目標自動更新しない】(→P.35)を選択した場合、料金単価と料金目標の設定をしないと、達成度(顔マーク)を表示しません。

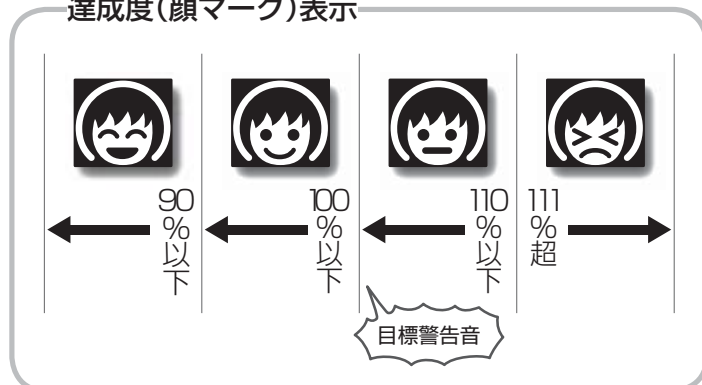
【例】今日現在の達成状況

84円(現在)÷120円(目標)=0.7(70%)

※目標に比べ70%と低くなるので、“90%以下”の顔マークが表示されます。



達成度(顔マーク)表示



工場出荷時のまま設定の変更をしていない場合は、【トップ画面】に表示している達成度が100%を超えた時点で目標警告音が鳴ります。

※トップ画面の顔マークは週間(7日間)の達成度です。達成度は1時間ごとに積算更新されるので、顔マークが☺から☹に変わった各時00分に目標警告音が2回鳴ります。

顔マークは下記のような場面で表示します。

【トップ画面】



【エネルギー使用量・CO₂排出量】



■今までに使ったエネルギー量を見る(→P.33)でエネルックボタンを押すと表示します。

【期間別の目標】



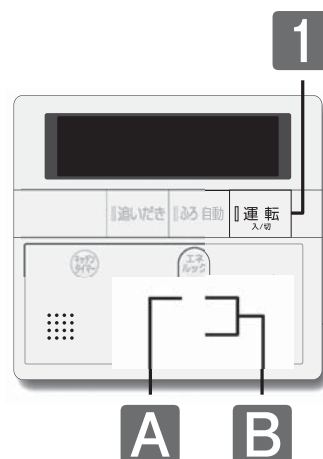
■今までに使ったエネルギー量を見る(→P.33)でエネルック設定ボタンを押している間、表示します。



- 達成度(顔マーク)を表示しないようにするには、■エネルックの設定を変更する(→P.36)で、達成度(顔マーク)表示の設定を■(表示なし)に設定してください。
- 省電力待機中に100%を超えた場合は、省電力から復帰した時点で目標警告音が鳴ります。
- 目標警告音を鳴らないようにするには、■エネルックの設定を変更する(→P.36)で、目標警告音の設定をOFF(警告音を鳴らさない)に設定してください。

エネルギーック

■エネルギーックの初期化をする



□日数を初期化する.....経過日数を初期化します。

1 運転入/切を「入」にする



給湯温度、40℃です

A ふたを開け(期間選択)を3秒以上押す



日数、初期化されました



●日数の初期化を行うと、翌AM0:00から計測が開始されます。

□データを初期化する.....料金設定を含めたエネルギーックのすべてのデータを初期化します。

1 運転入/切を「入」にする



給湯温度、40℃です

B ふたを開け(期間選択)とエネルギーック設定を同時に3秒以上押す



データ、初期化されました



●料金設定を含むすべてのエネルギーックデータを初期化します。初期化したデータは元に戻すことはできません。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

通常の寒さのとき

処置 1

外気温が -15°C を下回るとき
 -15°C より高くても風のある日

処置 2 または 3

長期間使用しないとき

処置 3

処置 1 凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水(湯)を循環して、ふる配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。

機器の電源プラグは、抜かない

電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを切ると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆凍結予防装置は、リモコンの**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材を巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

浴槽の水(湯)は循環口上部より5cm以上高い位置にする

浴槽の水(湯)を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずに、そのままにしておいてください。

- ◆浴槽の水(湯)を循環する凍結予防の動作中は、リモコンにを点滅表示します。

台所リモコン表示例

給湯 優先
AM 10:00 省電力 40℃
※リモコンの**運転**ボタン「切」や省電力待機中は表示しません。

お願い

- お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、リモコンの**運転**ボタンを押して「入」にしてください。

冬期の凍結予防をするには

処置 2 給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

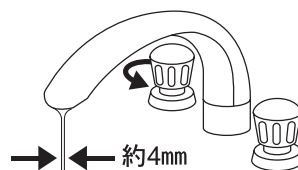
1 運転ボタンを「切」にする

必ず行います。



2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続ける

流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

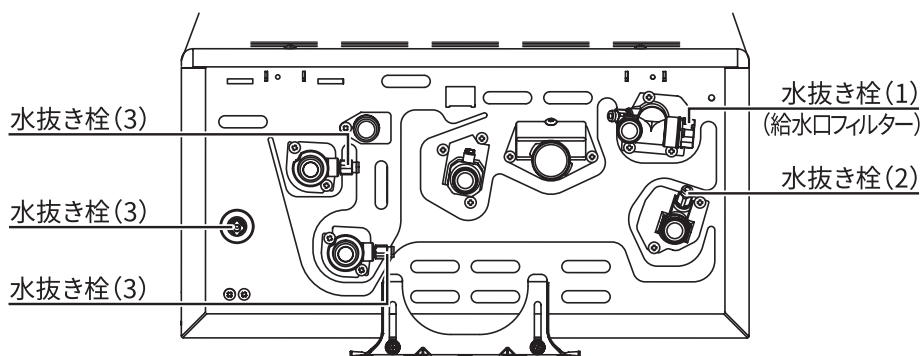


※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は最高温度側にします。



- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、**運転**ボタンを「切」にした状態で給湯栓を開けて水を出さないようにお願いをしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.6)
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

□水抜き栓位置図



冬期の凍結予防をするには

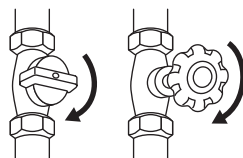
⚠ 注意

- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- 配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.47)

処置 3 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。

1 ガス栓と給水元栓を閉じる



機器の下部にあります。

2 浴槽の水を完全に排水する

3 浴室リモコンの運転ボタンを「入」にし、追いだきボタンを5秒間押し続ける



※浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。

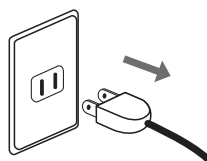
4 すべての給湯栓を全開にする



5 水抜き栓(1)を外し、(2)(3)を水が出るまでゆるめる

※水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図(→P.40)をご覧ください。

6 必ず電源プラグを抜く



機器の周辺にあります。電源プラグを抜き忘れると機器の故障の原因となります。

7 水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元に戻す

お願い

- 水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。再び使用するまでそのままにしておいてください。
- 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

冬期の凍結予防をするには

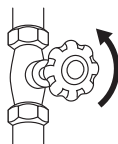
■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。

- 1 すべての水抜き栓およびすべての給湯栓が閉じていることを確認する

※水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図(→P.40)をご覧ください。

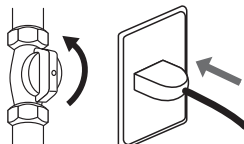
- 2 給水元栓を開ける



- 3 機器や配管より水漏れがないか確認する
また、すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉める



- 4 ガス栓を開け、電源プラグを差し込む



- 5 リモコンの運転ボタンを「入」にする



- 6 ふろ自動ボタンを押し、循環口からお湯が出ることを確認する



※しばらく(1分程度)しても循環口からお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。

お願い

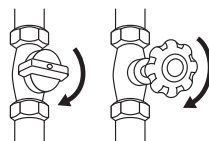
- 再使用するときは、水抜き栓を元に戻し、確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れてしまうと、そこから水漏れします。

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1 ガス栓および給水元栓を閉じる



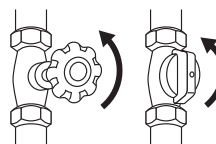
※給水元栓を閉じるのは、配管が破損していた場合の水漏れを防ぐためです。

2 リモコンの運転ボタンを「切」にする



3 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます

4 給水元栓を全開にし、ガス栓を開ける



必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。

5 リモコンの運転ボタンを「入」にする



6 ふろ自動ボタンを押し、機器の水漏れや追いだき配管が凍結していないか確認する



※しばらく(1分程度)しても循環口からお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。

お願い

- 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。
- 機器や配管が破損し、床や壁などを濡らして生じる損害はお客様の責任となります。

長期使用製品安全点検制度に関するお願い

■長期使用製品安全点検制度について

この製品は消費生活用製品安全法(消安法)で指定された特定保守製品です。

- 特定保守製品とは『消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等から見てその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)』として指定された製品です。

■法定点検(有料)について

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の債務として求められています。(消安法第32条の14)この機器に表示してある点検期間になりましたら、忘れずに点検を受けてください。

なお、法定点検後も機器を使用する場合は、こまめに(1～2年)点検を受けることがこの機器を安全にご使用いただくために必要となりますので、ご注意ください。

- ◆この機器の点検期間は右図のように表示しています。

- ◆この機器の設計標準使用期間10年の前後1年間が法定点検時期となります。

点検期間には忘れずに法定点検(有料)をご依頼ください。
(法定点検時期には、下記要領でお客さまにご登録いただいた所有者情報に基づき、当社より、はがき等で法定点検通知を送付いたします)

※図は表示の一例です。

■所有者登録について

特定保守製品の所有者は、この製品の製造事業者に法定の所有者登録をすることが求められています。(消安法第32条の8第1項および第2項)

下記、「所有者登録の方法」をご覧ください。いずれかの方法で、登録を行ってください。

また、引越し等で所有者登録の内容に変更がありましたら、速やかに登録内容の変更を行ってください。
変更登録を行わないと法定点検の通知が届きません。

※ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および弊社規定により、適切な安全対策の元に管理し、法定点検・リコール等製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

所有者登録の方法

以下のいずれかの方法で登録を行ってください。

※聞き間違いなどによる誤登録を防ぐため、電話での所有者登録は行っておりません。

所有者票(返信はがき)で登録する

- 添付の所有者票に必要事項をご記入の上、投函してください。

インターネット(パソコン)で登録する

- 下記アドレスにアクセスし、画面の案内に従って登録を行ってください。

<https://www.paloma.co.jp/touroku/>

モバイル(携帯電話・スマートフォン)で登録する

- 添付の所有者票のQRコードを読み取り、画面に従って登録を行ってください。

※ご使用中の携帯電話がQRコードに未対応の方やURLがうまく受信できない方は、所有者票(返信はがき)またはインターネットアドレスから登録をお願いします。

法定点検通知について

- 法定の所有者登録をいただいた方に、法定点検の通知をいたします。(消安法第32条の12)
- 法定点検に関するお問い合わせは、「法定点検の連絡先について」(→P.45)をご覧ください。

長期使用製品安全点検制度に関するお願い

■この製品の設計標準使用期間について

この製品は設計標準使用期間^{*}を10年と算定しており、適切な点検を行わずにこの期間を超えて使用すると、経年劣化による一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障、火災等に至るおそれがあります。

設計標準使用期間とは

標準的な使用条件(下記の(設計標準使用期間の算定の根拠)参照)の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです。(消安法第32条の3) 無償保証期間とは異なります。

設計標準使用期間の算定の根拠

この製品の設計標準使用期間は、製造年月を始期とし、給湯部については、JIS S 2071「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「6 標準加速モード」に従い、ふろがま部については、JIS S 2072「家庭用ガスふろがま・石油ふろがまの標準使用条件、標準加速モード及び試験条件」の「4 ふろがまの標準使用条件」に従って以下の標準使用条件で、耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

標準使用条件						
家族構成		4人世帯	1年間使用日数	365日	電源電圧/周波数	100V(50Hz/60Hz)
季節		中間期(春、秋)	気温/湿度	20℃/65%	給水温度	15℃
給湯部	用途	洗面・台所・湯張り・シャワー		出湯温度	40℃	
	1日使用时间	1時間		1日使用量	456ℓ	
ふろ部	用途	ふろの沸き上げ・追いだき		沸き上がり温度	40℃	
	ふろの沸かし直し	1回/週		浴槽の標準水量	180ℓ	
	保温(追いだき)	5回/日				



お知らせ

- 上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などで使用した場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、機器に表示している点検期間よりも早く点検を受けてください。点検のご依頼は下記の『株式会社パロマ お客さまセンター』へお願いします。
- この機器は一般家庭用です。業務用など、多頻度・長時間のご使用は、設計標準使用期間より早く経年劣化を起こし、重大事故となるおそれがありますのでこのようなご使用はおやめください。

■法定点検の連絡先について

法定点検に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

株式会社パロマ お客さまセンター

フリーコール: 0120-378-860 受付時間/ 平日 9:00 ~ 17:00(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- 点検費用はお客さまにご負担いただくこととなります。点検料金につきましては、上記フリーダイヤルへご確認ください。また、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は別途費用が発生します。
- 法定点検は全国の営業所で対応いたします。
パロマホームページ(<http://www.paloma.co.jp/>)のアドレスからもご確認ください。

■部品の保有期間について

この機器の部品の保有期間は下記になります。

部品	保有期間	部品内容(部品名)
点検に係わる整備用部品	11年	点検の結果必要となると見込まれる部品です。 パッキン・Oリング・点火プラグ・イグナイター・フレームロッド・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・温度検出サーミスタ
補修用性能部品	10年	機器の機能を維持するために必要となる部品です

■日常の点検・お手入れについて

この機器を安全にお使いいただくために、日常の点検・お手入れは必ず行ってください。

日常の点検・お手入れのしかたについては、「点検のポイント・お手入れのしかた」(→P.46)をご覧ください。
異常と思われる症状が見られる場合は、速やかに『株式会社パロマ お客さまセンター』までご連絡ください。

点検のポイント・お手入れのしかた



警告

●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



分解禁止

■点検のポイント(月1回程度)

次の8つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2. 機器および配管からガスの臭いがしませんか？
3. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
4. 機器の外観に異常は見られませんか？
5. 給排気管(給排気筒トップを含む)の損傷や詰まり、外れていることはありませんか？
6. 機器のまわり、および給排気管(給排気筒トップを含む)のそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりに紙くずや箱などで雑然していると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
7. 浴槽に循環口フィルターがついていますか？



給排気筒トップが塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。

積雪時には給排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給排気筒トップを塞ぐおそれがあるときは、お買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。

■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ(有料)

- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。
なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。
点検はお買い上げの販売店かパロマへご相談ください。

！お知らせ

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- 台所・増設リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い

- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

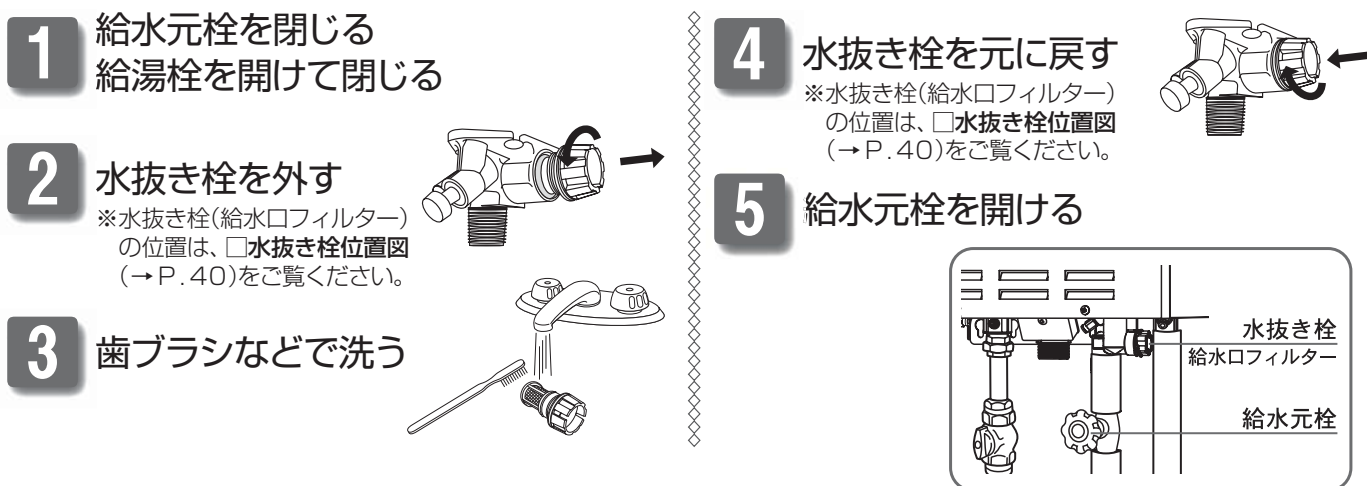
■循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくすなどが意外と多くたまります。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。



■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築の場合)



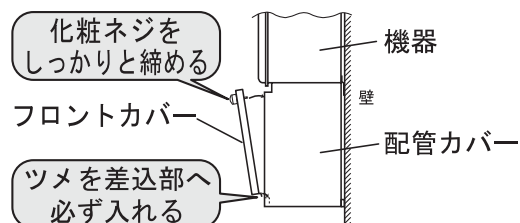
■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、**運転**ボタンを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。

配管カバーのフロントカバーについて

配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元のとおり取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジを確実に締める。



お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。循環口フィルターを付けずに運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

故障かな?と思ったら

給湯栓やシャワーから出るお湯	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓から出るお湯の量をかなり少なくすると機器が燃焼を止め水になります。お湯の出る量を増やしてください。
給湯栓を開いてもお湯が出ない 給湯栓を開いてもお湯にならない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。
	断水していませんか。断水中は機器を使用できません。
	給湯栓が十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。
	夏場など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。
	給水口フィルターが詰まっていますか。給水口フィルターの掃除をしてください。
	リモコンにエラーコードが点滅表示していませんか。(→P.51)
	お湯を1時間以上連続使用しませんでしたか。
	ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか。
	LPガスの場合、ガスがなくなっていますか。
	リモコンの運転が「入」になっていますか。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	凍結していませんか。
	停電していませんか。
	機器の電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	給水元栓を全開にしてください。
	給湯温度の設定は適切ですか。
	夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
高温のお湯が出ない	少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
	ガス栓を全開にしてください。
	給湯温度の設定は適切ですか。
給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンに「優先」が表示していますか。 “ ☐ リモコンの給湯温度が変更できないときは”(→P.15)をご覧ください。
給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中他の場所でお湯を使用したり、「ふろ自動」や「たし湯」をするとお湯の量が減る場合があります。
	湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。
	給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。汚濁とは違い無害なもので、異常ではありません。

故障かな?と思ったら

おふろ	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
おふろの温度が熱い おふろの温度がぬるい	ふろ温度の設定は適切ですか。 循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。
おふろのお湯が少ない(多い)	ふろ水位の設定は適切ですか。 循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。 残り湯がある状態で「ふろ自動」を行うと、水位が高くなる場合があります。 ふろ設定温度に近い残り湯がある状態で「ふろ自動」を行うと、お湯張りをしない場合があります。
「ふろ自動」の初めにお湯張りがと きどき停止する	正確にお湯張りを行うため、浴槽の残り湯を確認するための動作です。異常ではありません。
おふろを使用していないのに循環 口からお湯(水)が出る	お湯を使用すると機器内が温まり、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。 凍結予防のためにポンプが回ったとき、配管に残ってる水が循環口から出る場合があります。 水圧が高い地域などでは、圧力を逃がすために過圧防止安全装置がはたらきます。そのため、循環口より湯(水)が出る場合があります。
追いだきができない 追いだきが停止する	循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。 循環口上部より5cm以上お湯(水)が入っていますか。足りない場合はお湯(水)を足してください。
おふろの沸き上がりがいつもより 時間がかかる	「ふろ自動」と給湯を同時に行うと、給湯使用中の間はおふろのお湯張りが一時中断します。給湯を止めるとお湯張りを再開します。そのためおふろの沸き上がりにかかる時間がいつもより長くなります。 給湯・おふろ沸かしを同時に行うと能力が下がり、沸き上がりまでに時間がかかる場合があります。

リモコン	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
運転ボタンを押しても「入」になら ない	停電していませんか。 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
リモコンの画面表示いつのまにか 消えている	お湯を使わないまま、またはリモコンの操作をしないまま約5分たつと、画面表示が消えます。(省電力待機中)
リモコンの時刻表示が「--:--」に なっている	停電や電源プラグを抜いた後、再通電すると時刻の表示は「--:--」になります。時刻合わせ(→P.13)を行ってください
音声が出ない	音量の設定がやになっていませんか。音量の設定を確認してください。(→P.28)
音が小さい 音がこもる	音量の設定は適切ですか。 スピーカー部分に湯(水)がかかっていますか。
画面に  が点滅している	凍結予防のためポンプが作動しているとき、画面に表示します。

故障かな?と思ったら

機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
排気口から白い湯気が出る	冬に吐く息が白く見えるのと同じように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。異常ではありません。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
追いだき中にファンの回転音が大きくなったり小さくなったりする	ファンモーターの回転数が変化することによるもので、故障ではありません。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
「ふろ自動」保温中にときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するため、およそ15～30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ふろ自動」・「追いだき」・「ぬるく」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
冬場など気温が低いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行っています。
浴槽・洗面台が青く見える	湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが、健康上問題はありません。浴室や洗面台の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。

故障かな?と思ったら

■エラーコード表示について

機器に不具合が生じたとき、その原因に応じてエラーコードが点滅表示し、自動的に運転が停止します。

〔浴室リモコン〕

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足の番号が出ることがあります。
ご連絡の際は、エラーコードと併せてお知らせください。



〔台所・増設リモコン〕

簡易表示のため、エラーコードのみを点滅表示します。



お客さまで対処が可能なもの

エラーコード	原因	処置方法
011	給湯を60分以上連続で使用した	給湯栓を閉じる。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
032	水抜き操作時の浴槽排水忘れ	浴槽の湯(水)を排水する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
111※1	給湯側の点火不良	ガス栓が全開になっていることを確認する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
121※1	給湯側失火	※1 エラーコード111・121が表示されたときは、給湯栓を閉じるによりエラーコードが解除される場合があります。
252	浴槽の排水栓閉め忘れ	浴槽の排水栓を閉める。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
	追いだき時に浴槽のお湯(水)が足りない	運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 循環口の上部より5cm以上お湯(水)を入れてから追いだきする。
	循環口フィルター詰まり	循環口フィルターを掃除し、正しく取り付ける。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
562	注湯・注水ができない	断水でないこと、または給水元栓が全開になっていることを確認する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。

以下の場合には、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください

エラーコード	原因	状態
101	燃焼に異常が生じた	良好な燃焼を維持できず能力を低下しました。 機器は使用できますが、安全のため修理を依頼してください。 そのまま使用すると“991”となり、機器の使用ができなくなります。
130	燃焼に異常が生じた	窓を開けて室内の換気をし、修理を依頼してください。
380	機器の燃焼累計時間が一定時間を超えた	機器はしばらく使用できますが、COセンサーが寿命のため、修理を依頼してください。
	COセンサーが故障した	機器の使用はできません。 修理を依頼してください。
991	燃焼に異常が生じた	機器の使用はできません。 修理を依頼してください

その他のエラーコード

030	140	300	302	311	312	321	322
331	391	422	510	511	610	632	661
700	710	711	721	740	750	760	900

◇処置方法を試してもなお、エラーコードが表示されるときやその他わからないときは、お買い上げの販売店かパロマまでお問い合わせください。

仕様一覧

〔仕様表〕

項 目	内 容
器 具 名	FH-203APDT
型 式 名	FH-203APDT
外 形 寸 法(mm)	幅470×奥行240×高さ630
質 量(kg)	28(満水時30)
種 給 湯 方 式	先止め式
類 給 排 気 方 式	強制給排気方式
設 置 方 式	屋内壁掛設置式(FF 型)
点 火 方 式	AC100V 連続放電式(ダイレクト着火)
水 使 用 水 圧	100～750kPa(1.0～7.5kgf/cm ²)
圧 最 低 作 動 水 圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)
最 給 湯	3.5ℓ/分
作 ふ ろ	4.0ℓ/分
接 ガ ス	15A(R1/2オネジ)
続 給 水・給 湯	15A(R1/2オネジ)
追 いだき往・戻	15A(G1/2オネジ)
オ ー バ ー フ ロ ー	15A(R1/2オネジ)
電 電 源	AC100V(50/60Hz)
リ モ コ ン 側	DC24V 以下
消 待 機 時	2.5W(1.2W:CO センサ分を除く、浴室・台所リモコン取付時)
費 同 時 使 用	140W
電 凍 結 予 防 作 動 時	電気ヒータ120W 電気ヒータ+ポンプ運転180W
電 源 ケ ー ブ ル	VCT(2心)機外長2.0m
リ モ コ ン ケ ー ブ ル	浴室リモコン2心、台所リモコン2心
安 全 装 置	ファン回転検出装置(燃焼ファン) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 立消え安全装置(フレームロッド) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ・ポンプ運転) 空だき安全装置(バイメタル式) 過電流防止装置(電流ヒューズ) 空だき防止装置(水量センサ・水流スイッチ) 燃焼監視装置(CO センサ) 過熱防止装置(温度ヒューズ)

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量kW {kcal/h}			出湯能力(最大) ℓ/分		ガス 接続
	給湯・ふろ同時使用	給湯(最大)	ふろ	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市 ガス	13A	52.1{44,800}	42.8{36,800}	11.6{10,000}	20.0	12.5
	12A	48.5{41,700}	39.9{34,300}	10.8{9,300}	18.7	11.7
LP ガス	52.1{3.72kg/h}	42.8{3.06kg/h}	11.6{0.83kg/h}	20.0	12.5	15A (R1/2)

◎ガス: JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa{2kgf/cm²}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために

アフターサービスについて

点検・修理を依頼されるとき

- 「故障かな?と思ったら」(→P.48～51)を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターへご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

- 1.品名・器具名(銘板表示のもの)
- 2.現象(できるだけ詳しく)
- 3.ご購入日・ガス種
- 4.ご住所・お名前・電話番号
- 5.ご訪問希望日

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター 0120-193-860	受付時間：24時間修理受付
----------------	---------------------------------------	---------------

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についてのお問い合わせは	パロマお客様相談室 052-824-5145 〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	受付時間：平日 8：30～18：00 (土・日・祝日・弊社指定定休日を除く)
----------------	---	---

お近くの下記サービスセンターでのお問い合わせも受付しております。

【各地区のサービスセンター】 受付時間：平日 9：00～18：30 (土・日・祝日・弊社指定定休日を除く)

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1-1	011-726-2822	011-736-7374
東北サービスセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館20-10	022-239-1848	022-238-0838
首都圏サービスセンター	〒114-0015 東京都北区中里3-11-9太平中里ビル2階	03-6858-8600	03-6858-8601
中日本サービスセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6-23	052-824-5050	052-824-5385
近畿サービスセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8-12	082-262-8341	082-263-2400
九州サービスセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-13	092-472-0924	092-471-8400

※住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承ください。

保証について

- このガスふろ給湯器には保証書が付いています。
必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後10年です。
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
- また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービスについて

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は水抜き操作をしてください。(→P.41)

お客さまの個人情報の取り扱いについて

- 当社はお客さまよりおしらせいただいた、お客さまのお名前・ご住所・電話番号などの個人情報をサービス活動および、安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。
- 当社はお客さまの個人情報を、下記の場合に除いて第三者へ開示・提供いたしません。
 - ・修理やその確認作業を当社の協力会社に委託する場合
 - ・法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合
 - ・その他の正当な理由がある場合
- 当社はお客さまの個人情報を適切に管理します。

BL 認定部品について

- 優良住宅部品(BL 認定部品)は、住宅に設置する場所(適用範囲)を設定して認定基準などが規定されています。そのため、BL 認定部品を適用範囲外で使用される場合には、優良な部品としての性能が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品(BL 認定部品)の適用が受けられなくなります。
- ※BL 認定部品についてのお問い合わせは一般財団法人ベターリビング TEL : 03-5211-0680(お客様相談室)までご連絡ください。

保証書

パロマ ガスふろ給湯器

FH-203APDT

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客さまの正常な設置・使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、設置工事説明書、本体表示等の注意書きに従った正常な設置・使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かパロマが無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、パロマへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
(ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、異常電圧、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
(ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輛、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
(ト) 本書の提示がない場合
(チ) 建築躯体の変形など機器本体以外の不具合に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の現象
(リ) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する場合
(ヌ) 給水・給湯配管の錆び等異物流入に起因する不具合
(ル) 温泉水、井戸水、地下水などを給水したことに起因する不具合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客さま	お名前	様	お買い上げ日	年	月	日
	ご住所	〒				
	お電話					
販売店	店名		BL認定部品の保証期間	本体	お買い上げ日から2年間	
	住所			熱交換器	お買い上げ日から3年間	
	電話番号					

株式会社 **パロマ**

〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145



修理記録

年 月 日	修理内容	サービス員 ㊞

* この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かパロマにお問い合わせください。

* 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。